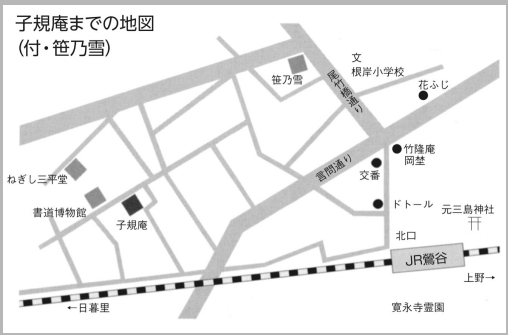
演奏者プロフィール

◯渡辺公章(バンドネオン)
6歳より矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。筑波大学第一学群社会学類卒業。大学在学中フランスに留学、バンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニに出会いバンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。その後、フランス音楽の紹介と日仏間の音楽家の交流を目的とするNPO法人「日仏楽友協会」のプロデューサーとして多くの演奏会、講習会を企画する。タンゴ・グループ「タンゴ・アリエント」主宰。2015年より「吉田正記念オーケストラ」のバンドネオン奏者。2016年には新潟、北上、八戸で「左手のピアニスト」舘野泉氏と共演。2017年舞台『ラストダンス―ブエノスアイレスで。』にて劇中の生演奏を担当。同年、新タンゴ五重奏団「サクステート」に参加。関東・東北で演奏会を行い好評を博した。現在、仙台を中心として各地で演奏活動を行い、またバンドネオンとピアノのレッスンを行っている。

◯小林萌里(ピアノ)
茨城県笠間市出身。東京音楽大学卒業。第57回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。ヤングアーチストピアノコンクール第20回 G部門 銀賞(最高位)。第5、6回日本バッハコンクール全国大会入選。第7回ジュラ・キシュ国際ピアノコンクール 一般部門審査員賞。2016年度茨城県新人演奏会に出演。これまでにピアノを林玲子、上仲典子、深澤亮子、武田真理、鈴木弘尚、パブロ・シーグレル、エリック・タヴァスティエルナの各氏に師事。これまでに蓼科音楽祭、荻窪音楽祭、2012年、2015年にパブロ・シーグレルサマータンゴアカデミーを受講し、"Nuevo Tango, de una Noche de Verano"に出演。2017年Stowe Tango Music Festivalに参加。ピアノをホセ・コランジェロ、グスタボ・カサナヴァの各氏より指導を受ける。また、ブエノスアイレスにて、エルナン・ポセッティ、パブロ ・エスティガリビア、ニコラス・レデスマのレッスンを受ける。現在クラシック、タンゴ等の、コンサート、音楽祭、ライブ等で活動中。2017年に結成された新タンゴ五重奏団「サクステート」のメンバー。

子規庵
鶯谷駅（JR山手線 ／ 京浜東北線）
鶯谷駅北口から徒歩5分。明治の俳人・ジャーナリスト正岡子規が約８年住んだ終焉の地。東京都史跡指定。昭和２５年に再建された建物ですが、一歩庵に入れば子規の世界が広がります。四季折々の小園と、糸瓜の棚にぶら下がる糸瓜の青さに、子規の創作世界に思いを馳せてください。



住所:〒110-0003 東京都台東区 根岸2丁目5-11